

お金の話 ①

「お金」と「時間」の話です。お金も時間も、見えるようで、本当のところは見えないものです。だから、ちょっとお金と時間について考えてみます。

〔教育は無料？〕

日本国憲法第26条第2項に、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育は、これを無償とする。」とあります。つまり、保護者は、子供に教育を受けさせる義務を負うとともに、**授業料などは徴収されない**と解することができます。でも、もちろん、予算0円で学校教育が成立するはずがありません。

学校教育費を考えると、**消費的支出（約9割）と資本的支出（約1割）**に用途を分けることができます。消費的支出とは、その約9割を占める人件費（教職員給与等）のほか、教材費、校舎の維持費、給食・保健・通学などの補助的サービス経費です。資本的支出とは、1年以上の耐用年数をもつ施設・校舎の建築、大規模修理及び大型設備の購入のため支出です。

〔実は1人100万円〕

では、学校に通うのに、いったい幾らかかっているのでしょうか。様々な計算方法がありますが、文部科学省発行「教育指標の国際比較 平成25年版」によると、児童・生徒1人当たり初等中等学校教育費は、**年間 100 万円**弱だそうです（8,502 ドル×116 円 出典：OECD、Education at a Glance 2012）。

これらを授業料として換算すると、本校は年200日、1,000回程度の授業がありますので、児童一人当たり、1日5,000円、**1授業 1,000 円の予算（税金）**がかかっていることになります。1日5,000円といえば、某テーマパークの入園料4,800円を上回っています。

学校は、某テーマパークよりもワクワクする価値あるものでなくてはなりません。

〔時は金なり〕

授業は、1回45分間です。1分間22.2円になります。そんなことを意識して、学校生活を送っている子供はいないと思いますが、大人（教員）はしっかり意識しなければなりません。

よく子供たちにチャイム着席するように指導します。はじめとともに、チャイムと同時に授業を始め、45分間をきちんと有効に使うためです。仮に、**毎回5分間のロスがある**とどうなるか…。

〈 5分間 × 1,000回 = 5,000分間 = 約111時間 〉

これは、なんと**1ヶ月分の授業時間に相当**します。お金に換算すると**10万円以上の損失**です。夏休みが一回増えて、クラス全員で海外旅行にも行ける計算です。

たった5分を軽く見てはいけません。夏休みまで、あと1ヶ月。大人（教員）も、子供（児童）も、有意義な時間を過ごせるように努めてまいります。

道標 (みちしるべ) 第1113号

平成29年6月16日

校長 稲垣 達也

お金の話 ②

学生・生徒1人当たり学校教育費

	就学前教育 (3歳以上)	初等教育	中等教育	前期	後期	高等教育 以 外 の 中等後教育	高等教育	非大学型	大学型及び 上級研究学位 プログラム
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
オーストラリア	8,493	8,328	10,137	10,273	9,916	7,445	16,074	9,158	17,460
オーストリア	8,202	10,080	12,589	12,442	12,737	x(5)	14,257	14,210	14,258
ベルギー	5,696	8,341	10,775	x(3)	x(3)	x(3)	15,443	x(7)	x(7)
カナダ ^{1, 2}	x(2)	8,262	8,997	x(2)	10,340	m	20,932	13,605	25,341
チリ ³	3,885	2,981	2,892	2,893	2,892	a	6,863	4,132	8,935
チェコ共和国	4,452	4,196	6,602	6,973	6,293	1,915	8,237	3,407	8,615
デンマーク	8,785	11,166	11,036	11,078	10,996	x(5, 7)	18,556	x(7)	x(7)
エストニア	2,551	5,493	6,519	6,225	6,756	7,604	6,373	5,186	6,981
フィンランド	5,553	7,368	8,947	11,338	7,739	x(3)	16,569	n	16,569
フランス	6,185	6,373	10,696	9,111	12,809	m	14,642	12,102	15,494
ドイツ	7,862	6,619	9,285	8,130	11,287	8,843	15,711	8,192	17,306
ギリシャ	x(2)	m	m	x(3)	x(3)	m	m	m	m
ハンガリー ¹	4,745	4,467	4,514	4,874	4,181	4,701	8,518	5,402	8,725
アイスランド	9,636	10,099	8,644	9,778	7,934	x(3)	9,939	x(7)	x(7)
アイルランド ¹	m	8,219	11,831	11,069	12,731	9,047	16,420	x(7)	x(7)
イスラエル	3,998	5,202	5,842	x(3)	x(3)	4,871	11,214	9,393	11,621
イタリア ¹	7,948	8,669	9,112	9,165	9,076	m	9,562	9,565	9,562
日 本	5,103	7,729	9,256	8,985	9,527	x(5, 7)	15,957	10,125	17,511
韓 国	6,047	6,658	9,399	7,536	11,300	a	9,513	6,313	10,499
ルクセンブルグ	16,247	16,494	19,324	19,202	19,443	m	m	m	m
メキシコ	2,158	2,185	2,536	2,014	3,534	a	8,020	x(7)	x(7)
オランダ	7,437	7,917	11,793	11,708	11,880	11,642	17,849	10,056	17,854
ニュージーランド	11,202	6,812	7,960	7,304	8,670	9,421	10,619	8,521	11,185
ノルウェー	6,696	11,833	13,883	12,505	14,983	x(3)	19,269	x(7)	x(7)
ポーランド ¹	5,610	5,302	5,026	4,871	5,159	7,865	7,776	5,691	7,800
ポルトガル ¹	5,661	5,762	8,709	8,448	9,015	m	10,481	x(7)	x(7)
スロバキア共和国	4,433	5,099	4,658	4,747	4,578	x(5)	6,758	x(5)	6,758
スロベニア	7,979	x(4)	8,670	9,386	7,409	x(5)	9,311	x(7)	x(7)
スペイン	6,946	7,446	10,111	9,484	11,265	a	13,614	10,990	14,191
スウェーデン	6,549	9,382	10,050	9,642	10,375	5,974	19,961	6,658	21,144
スイス ¹	5,147	10,597	15,645	14,068	17,013	x(5)	21,577	5,502	23,111
トルコ	m	m	m	a	m	a	m	m	m
イギリス	6,493	9,088	10,013	10,124	9,929	x(5)	16,338	x(7)	x(7)
アメリカ合衆国	8,396	11,109	12,550	12,247	12,873	m	29,201	x(7)	x(7)
OECD各国平均	6,670	7,719	9,312	8,854	9,755	4,958	13,728	-	-

(参考) 児童・生徒1人当たり初等中等学校教育費 (2009年)

(米ドル)

オーストラリア	9,139	ハンガリー ³	4,506	ポーランド ³	5,167
オーストリア	11,681	アイスランド	9,309	ポルトガル ³	7,288
ベルギー	9,783	アイルランド ³	9,615	スロバキア共和国 ¹	4,781
カナダ ^{1, 2, 3}	8,997	イスラエル	5,464	スロベニア	8,670
チリ ⁴	2,935	イタリア ^{3, 5}	8,943	スペイン	8,818
チェコ共和国	5,615	日 本 ¹	8,502	スウェーデン	9,709
デンマーク ¹	11,094	韓 国	8,122	スイス ³	13,411
エストニア	6,149	ルクセンブルグ	18,018	トルコ	m
フィンランド	8,314	メキシコ	2,339	イギリス	9,602
フランス	8,861	オランダ	10,030	アメリカ合衆国	11,831
ドイツ	8,534	ニュージーランド	7,556		
ギリシャ	m	ノルウェー	12,971	OECD各国平均	8,617

(注) 1. 一部の教育段階が他の教育段階に含まれる。該当する教育段階については前頁の表の記号「x」を参照。

2. 調査年は2008年。

3. 国公立教育機関のみ (カナダは高等教育のみ。イタリアは高等教育を除く)。

4. 調査年は2010年。

5. 高等教育以外の中後教育を除く。

(出典) OECD (2012), Education at a Glance 2012: OECD Indicators (<http://www.oecd.org/edu/eag2012>), p.229

(日本語版 OECD『図表でみる教育 2012年版』p.246)